



## 佛事の常識・非常識



Q:年始のおかざりはどうするの？ A:鏡餅を供え、仏花は松の真・梅・南天・水仙等を。いよいよ2012年も終わりを迎えます。本当にあっという間の1年間でした。今回の仏事の常識・非常識は年末年始の迎え方を説明しましょう。まず年末には、お内仏(仏壇)のすす払いを丁寧に掃除します。本尊の前の卓に打敷を掛けます。仏花として若松の真を用いて、梅・南天・熊笹・柳・椿・水仙・寒菊など冬の草花を使って生けます。最後に2・3枚の葉付きの橙や金柑を載せた鏡餅をお供えします。以上の準備ができれば、大晦日の夕方に(歳末勤行をして1年間を締めくくります。元旦には、朱ローソクを灯し、線香を折って寝かせて焚きます。そしてお焼香・合掌礼拝し、正信偈を唱えて1年を始めます。勤行が終わったら速やかにお仏飯を供え、正午には下げます。夕方にもう一度正信偈をお勤めします。三が日の間、こうして勤める事を「修正会」と言います。この「修正会」が終われば四日には鏡餅を下げて、平常通りのおかざりに戻します。浄土真宗の年末年始はいたってシンプルです。

## 寺ともさんごぼれ話

今回も寺ともさんのごぼれ話を紹介しましょう。去る11/19(月)のRNC西日本放送ラジオ「気ままにラジオ」で12月の寺とも「大正琴ミニコンサート・仏教講座」を電話取材して頂きました。パーソナリティーは筒井茂広さんといって2年前の「瀬戸のやすらぎ」お披露目会で津軽三味線を演奏して下さった方でした。徳成寺の前を通る折に掲示してあるかわら版や寺ともチラシをご覧頂いているということでした。ありがとうございます。続いては寺ともサービスもお陰さまで今月末で丸6年を終えました。パンフレットには6年前撮影された私の写真が載っているのですが、最近初めてその写真を見る方から、「この写真はどなたですか？」と質問されるようになりました。私だと信じてもらえなくなりつつあるようです。流れる年月には勝てませんね。↓最後は、徳成寺を通じて昔の先生と生徒の縁がよみがえったという話題です。今月の寺ともさん宮武さんの中学時代の美術の先生が、以前コミュニケーションで塩江美術館での個展を紹介した小林正六先生だったそうです。大変懐かしく思われたそうで、宮武さん塩江美術館まで足を運ばれたそうです。



名前：ラムちゃん  
性別：♂  
お年：9歳ぐらい  
種類：ヨークシャテリア  
好物：ジャーキー  
苦手：のみ・飛ぶ虫・蠅など  
住所：峠さん宅(高松市)  
性格：おてんば

## ご自慢のペットちゃん



ペットちゃんを募集しています。

エピソード：マンガ「うる星やつら」から名前をもらったラムちゃん。生まれた時、兄弟たちはもらわれたのに、ラムちゃんだけは取り残されていたそうです。バキューンと手をピストルに真似て撃つと、倒れてみせたり、カメラ目線を忘れずじっと待つことができたりするなかなかの役者です。全国版の化粧品雑誌「DHC」の「DHCの我が家」の欄で、ラムちゃんを取り上げられたこともあるそうです。ラムちゃんを抱いているお二人は近々、結婚のご予定です。

## NHK 高松放送局ゆう6かがわ・とれとれマイビデオ



10/31 夕方6時44分放送

第70回寺ともサービスディ「整理収納セミナー」が、NHK高松の「とれとれマイビデオ」のコーナーに取り上げられました。「整理収納は、年末に向けて役に立つかも知れませんね」という感想をアナウンサーから頂きました。

## おまけ

今年も無事に報恩講をお勤めすることができました。仏様にご参集下さった皆様へ感謝します。来年もどうぞよろしくお願い致します。よいお年をお迎え下さいませ。  
@かわら版不要の方は恐れ入りますが  
087-821-6348へご連絡を。